

忍者史料をひもとく① 渡辺俊経家文書

日本遺産に認定されている甲賀忍者。そのうたい文句である「リアル忍者」を根拠づける古文書をシリーズで紹介いたします。第1回は、甲南町杉合から発見された「渡辺俊経家文書」です。

全一五七点のうち、最も特徴的なのは、江戸時代に渡辺家が尾張徳川家の「御忍役人」であったことを示す誓約書が含まれている点です。これによって、甲賀の人が実際に甲賀忍者を務めていたことが、史実として確認することができました。「秘密を洩らさないこと」などを「油日大明神」の名の下に誓約しているのは、甲賀らしさを示すものといえます。

他に面白いものとして、渡辺家から甲賀者と、尾張藩の役人との間で交わされた「咄書」という記録があり、藩役人から忍びの起源について尋ねられたが、これに沈黙で応じたことと記されています。その理由と苦悩も書かれています。忍びの自己認識がうかがえるとともに、悩みごとを抱える一人の人間であったことも読み取れる、大変貴重な史料です。

忍術関連の一七点を含め、史料が六二点もあるのも特徴で、江戸時代前期に忍術・砲術・剣術・馬術などを修め、尾張家に雇用されたと考えられていますが、忍びでも忍術以外の技能が求められることがよくわかります。



▲さまざまな内容を持つ渡辺俊経家文書

※報告書の購入は、甲賀流リアル忍者館 (Tel)70-2790 (Fax)70-2659)まで。

今回紹介した渡辺俊経家文書は、二〇一七年に報告書が刊行されています。ここで紹介しきれなかった情報がたくさん載っていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

渡辺家文書のより大きな価値は、近年の甲賀市における忍者・忍術関係史料の調査や活用がきっかけとなったことで、甲賀市にとって非常に意味のある古文書群です。

問合せ 歴史文化財課 普及活用係 (Tel) 69-2252 (Fax) 69-2293

掲載している催し等は、2月16日時点の情報であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、休止・延期している場合があります。



であいひろがる!
みんなの図書館

映画会、乳幼児向けおはなし会は当面の間休止します。

※3歳以上を対象としたおはなし会は開催しています。

3月15日～
4月16日までの
行事予定

行事名	内容	月日	曜日	時間	場所
対面朗読	対面朗読 ※事前予約要	3月17日	金	13時30分～15時30分	甲南図書交流館
		4月 7日	金		
ギャラリー	編物&手芸作品展	3月19日(日)まで			甲賀図書情報館
	ぷらら書道作品展	3月 1日(水)～ 3月19日(日)			甲南図書交流館
	南北墨画会山ゆり作品展	3月24日(金)～ 4月16日(日)			信楽図書館
	2023 ときめきアート展	3月25日(土)～ 4月16日(日)			甲南図書交流館

図書館では、「甲賀市図書館の利用に関するアンケート」を10月から11月にかけて実施しました。アンケート結果を、3月中旬に甲賀市図書館のホームページで公表する予定です。

図書館では、館内の装飾や本の修理などへ協力いただけるボランティアを募集しています。詳しくは23ページをご覧ください。

開館時間	問合せ・申込み	休館日・閉館日
10時～18時 ※甲南図書交流館の夜間開館は休止しています。	水口図書館 ☎ 63-7400 ☎ 63-4737 土山図書館 ☎ 66-1056 ☎ 66-1067 甲賀図書情報館 ☎ 88-7246 ☎ 88-7005 甲南図書交流館 ☎ 86-1504 ☎ 86-1505 信楽図書館 ☎ 82-0320 ☎ 82-3921	木・金・第3水曜日 月・火・第4金曜日 木・金・第4水曜日 月・火・第4水曜日 月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は下記または甲賀市図書館ホームページまで
http://lib.city.koka.lg.jp



Check! 消防団員〇〇さんの二刀流!

Vol.6 消防団員を通じ地域とのつながりが広がる

信楽方面隊 信楽分団 第1部班長 神山尚さん



Q 消防団に入ったきっかけは?

地元の先輩たちからお誘いをいただいたことがきっかけです。私は生まれも育ちも信楽ですが、京都へ表具の修行に出ていることもあり、地域のコミュニティに溶け込みたいと思い入団しました。

Q 消防団員をされていて良かったと思うことは?

入団をきっかけに地元で活動している様々な職種の方と知り合えたことです。また信楽以外の方とも、SNSをはじめ交流ができ、知見も広げられました。そのご縁で現在では地域活動などへ積極的に参加させていただき、地域の人々とのつながりを広げられたことが、とてもありがたいと思っています。

これからも特に信楽は山間の集落も多く過疎化して少子高齢化なども進んでいるので、団員をはじめ地域住民が一体となって必要な活動に協力して地域の防災力を維持できるよう努めなければならないと思います。

併せて、市では地域の防災力の向上のために、支援団員制度などを創設していただいています。今後も官民それぞれの立場で、地域の未来を見据え充実して活動をしていきたいです。

Q お仕事との両立は大変ではないですか?

実のところ大変なこともあります。信楽分団第1部は火災出動があれば消防ポンプ自動車を用いて単独ラインを組み、消火活動を行うことがよくあります。このため安全に運用できるよう訓練や点検が月数回あります。団員も自営業、会社員と多岐にわたるので、それぞれが忙しい中、共に助け合って活動しています。

本業があつての消防団活動だと思っているので、仕事や私生活を軽視することなく活動していければと思っています。こういった活動がしていけるのも周りの方や家族のおかげなので、本当に感謝しています。